

技術士 1 次試験に合格して



大久保 元靖

(おおくぼ もとやす)

勤務先

一般社団法人 北海道水産物検査協会

稚内検査事務所

〒097-0022 稚内市中央 4 丁目 18 番 1 号 稚内水産ビル 4 階

TEL 0162-24-4073 FAX 0162-24-4073

E-mail okubo@h-skk.or.jp

■ 専門：水産部門

1. 自己紹介

初めまして、この度 2 回目の受験で一次試験の水産部門に合格した大久保元靖と申します。平成元年に愛知県犬山市で生まれ、学生時代は札幌市で過ごしました。

現在は北海道において生産される水産物(こんぶ)の検査・格付、塩数の分析及び道産食品の認証、並びにそれらの生産技術の指導を業務とする北海道水産物検査協会に勤務しております。私は「北海道こんぶ製品」の格付業務、簡単にいうと乾燥させた昆布が決められた長さ、幅、重さ、色沢やその他の項目が規格に基づき製品化されているかを生産者の自宅に伺い検査することを主業務としております。

2. 受験に至るまで

技術士という資格は、以前勤務していた道内のある養豚場に獣医師の方が生産技術の指導を行うために定期的に訪問されていたことがきっかけでした。そういった仕事に興味を持ったので調べてみると様々な分野で技術についての業務を行う技術士という資格があることを知りました。その中で「技術士倫理綱領」にとっても魅力を感じて、また転職して現在の職場で働くことが決まった際に水産関係の知識も全くなく自分がこれから行う業務に技術士という資格がよくあてはまっていると考えて、自己研さんの意味も含めて受験を決意しました。

3. 受験体験

試験勉強を始める前に過去の試験問題を確認しましたが、一筋縄ではいかないと思ったのが正直な感想です。大学では法律を勉強していたので適性科目はともかく専門科目と基礎科目については非常に難しく感じたので、まずは過去の試験問題を中心に専門科目はわからない部分を大学で使う専門書を辞書代わりに、他にも水産白書などを読み込んで基本的

な部分を理解することから勉強を進めました。

基礎科目については出題分野の中で取り掛かりやすい分野から確実に得点できるように直近 10 年分の過去問題を繰り返し解くようにしました。

また毎年 7 月から 11 月の期間は業務の都合上忙しくなるので勉強する時期は主に冬期間に集中して行うことを決めて、業務終了後は帰宅する前に必ず図書館に寄ることを習慣づけて取り組むよう心がけました。

ある程度理解が進むと、新しく知ることが面白く感じて、あまり苦勞せずに試験勉強をすることができたと思います。

最初の一次試験の結果は専門科目があと 1 点足りず、不合格でした。原因は初めての試験で緊張したのもありましたが、やはり知識不足や理解が足りなかったことが大きかったと感じたので、次の試験に向けてあやふやな部分を少しでも無くすことを目標に復習に取り組み、2 回目の受験では試験終了後には手応えを感じることができました。合格発表までは落ち着きませんでしたが、合格することができて良かったです。

4. 今後に向けて

合格した後は技術士補を経てから 2 次試験に挑戦したいと考えておりましたが、今の職場では技術士の方はおらず、二次試験を受験するにもまだまだ実務経験が必要なので数年先の受験を考えております。2 次試験はとても難しいということで今回の合格は技術士に向けての初めの一步ですが、まずは何よりも知識も経験も不足していると強く感じているので、日常の業務を通じて少しでも多くのことを修習技術者の視点で学んで知識や経験の幅を広げたいです。未熟者ではありますが、今後ともどうぞよろしくお願い致します。